

妊婦健診について

歴月・週数	母体の変化	準備	当院で行う検査・指導
2か月 4～7週 推定体重 ～5g	 月経が止まり、妊娠に気づく 1) 妊娠に気づく 2) 基礎体温が上がったまま (妊娠14週～19週まで続く) 3) 下腹部や腰がはる 4) 尿の回数が増える 5) 乳房が貼る 乳頭が敏感になる 6) めまい・鼻出血・動機などの症状が出る人がいる	●分娩場所を決める	(尿妊娠反応検査) ●超音波診断(腔式) ●子宮内妊娠か子宮外か ●胎芽は生きているか ●育つかどうか(8週以後) ●胎状奇胎かどうか
3か月 8～11週 推定体重 約5g～25g	 8週 つわりや便秘に悩む 流産しやすいころ 1) つわりが続く、吐き気のほか生唾が たまる、胸やけなどの症状も出る 2) 頻尿、便秘になりやすい 3) 乳房が大きくなり乳頭、乳輪が色づく	●母子手帳の交付を受ける	●予定日の修正 ●初期血液検査 ・血算・ABO・Rh・RPR法 ・TPHA・HBs抗原・トキソプラズマ抗体 ・風疹HI・HIV・HCV・麻疹NT ・GOT・GPT・不規則抗体 ・血糖・HTLV-抗体 ●子宮頸がん検診 ●クラミジアPCR ●前期母親学級(第1金曜日) ●新生生前診断 (希望者は保健衛生大紹介)
4か月 12～15週 推定体重 30～120g	 15週 胎盤ができて安定期に入る 1) 胎盤が完成する 2) つわりが治まり気分がよくなる 3) 食欲が出る 4) 頻尿、便秘が徐々に解消する 5) おりものが増加することがある		●超音波診断(腹式) (児頭チェック)
5か月 16～19週 推定体重 150～250g	 16週 胎動を感じるころ 1) かすかに胎動を感じ始める人もいる 2) 皮下脂肪がつき体重が増加、 1ヶ月に1kg以内を目標に 3) 不安感がなくなり母性愛が強くなる	●歯科検診	●乳房指導 ●児心音聴取 ●17週羊水検査 ダウン症チェック(希望者)
6か月 20～23週 推定体重 300～650g	 22週 1) 胎動をはっきり自覚できる 2) 外観的なお腹のふくらみが目立つ 3) おりものが増える 4) 乳汁が出る人がいる	●おむつ、ベビー用衣類一式、 入院時の衣類、出産用品、 ベビーベッド、ふとん、 沐浴用品等の準備を行う	
7か月 24～27週 推定体重 700～1100g	 27週 上腹部まで大きくなる 1) 上腹部までお腹がふくらみ目立つ 2) 腰、背痛が起こりやすい 3) 乳房がさらに発達する		●後期母親学級(第3金曜日)
8か月 28～31週 推定体重 1200～1700g	 28週 第二のつわりといわれる頃 1) 妊娠線が出てくることがある 2) 神経過敏、不眠になりやすい 3) 下肢にかかるいむくみが出たりする 4) 胃が圧迫されるので食事は少量ずつ しか食べられない 5) 妊娠性のしみがやすい	●入院に必要な物をまとめて 誰にでもわかるようにしておく	●後期血液検査 ●超音波診断 胎児位置 胎盤の位置 胎児の発育チェック ●腔分泌物検査 B群溶連菌(GBS) ◎8か月は大事な時期です。遠出は避け、 ゆったり過ごしましょう。
9か月 32～35週 推定体重 1900～2400g	 35週 胃のつかえや動悸を感じる 1) おなかが上の方まで大きく膨らみを増す 2) とときお腹がはる 3) 頻尿になる 4) さらにおりものがふえる	●乳房の手当を始める	●胎動カウント ●呼吸法(ラマーズ) 勉強会(第4金曜日)
10ヶ月 36～34週 推定体重 2500～3800g	 36週 お腹のふくらみが下がる 1) 頻尿になる 2) 足のつけ根がつるような感じ 3) 胃や胸の圧迫感がとれる 4) おりものがふえる 5) 子宮のはりが頻繁になる	●入院時必要な物品の確認 ●留守中の連絡場所等の メモ作成	●内診 ●超音波診断 ●胎児の推定体重 ●NST検査 ●貧血検査

4週間に一回検診

2週間に一回検診

毎週検診